

## 第2学年 技術・家庭科学習指導案

日 時 平成20年11月20日(木) 5校時  
場 所 2年4組教室  
生 徒 男15名、女19名、計34名  
授 業 者 教諭 堀村 千鶴子

1 題材名 家族と家庭生活 B－(4) 「商品の選択と購入」

### 2 題材について

#### (1) 系統性

学習指導要領の目標においては、基礎的な知識と技術の習得とともに小学校では「家族の一員として生活を工夫しようとする実践的な態度を育てる。」中学校では「家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。」そして高等学校の「家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。」というように題材が大きく関連している。

具体的に中学校の家族と家庭生活 B－(4)「家庭生活と消費」については、小学校家庭科の「身の回りの物や金銭の計画的な使い方を考え、適切に買い物ができるようにする。」と関連し、内容として「ア 物や金銭の使い方を自分の生活とのかかわりで考えること。」「イ 身の回りの物の選び方や買い方を考え、購入することができること。」の2点があげられる。

イについては衣食住などの学習で扱う用具や実習材料など身近な物を取り上げ 実践的な態度を育てるということが目標である。小学校での学習をふまえ、基礎基本の定着を図りたい。更に高等学校の「消費生活と環境」の内容においては「家庭経済や消費生活に関する基礎的な知識を習得させるとともに、現代の消費生活の課題について認識させ、消費者として責任をもって行動できるようにする。」「ア 家庭の経済と消費家庭の経済生活、社会の変化と消費生活及び消費者の権利と責任について理解させ、消費者として主体的に判断できるようにする。」と関連する。以上のような系統性をふまえながら指導していきたい。

#### (2) 教材について

本題材は学習指導要領の B「家族と家庭生活」の(4)家庭生活と消費について「ア 販売方法の特徴や消費者の保護について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること。」の内容である。

私たちの生活は多種多様な物資・サービスであふれている。また、社会の進展に伴い、商品の選択と購入の際にも多様な方法があり、消費者として適切な選択や購入ができる判断力や責任を強く求められる時代になっている。また、近年、消費生活に関わる問題が後を絶たず、「悪質商法」「食品の安全性をめぐる問題」など幅広くなってきている。また国民生活センターに寄せられる消費生活相談においても食品の表示・広告などの相談件数も今年は増えている。そのような状況の中で主体的に判断し、多くの情報の中から自分の意で考え、行動することが消費者として必要な能力であると考え。更にこれからの社会は、社会の変化に対応し、消費することにとどまらず環境へも配慮した循環型社会をめざす消費者としての実践的な態度を育成することも重要になるとえる。

中学生はまだ経済的に自立はしていないが、アンケートなどによるとおこづかいなどで自由に使えるお金は所持している。数年後には経済的に自立し、消費者の一人として家庭生活を営むようになる。

そこで実践的・体験的な学習を通して意思決定力を育むことが主体的な消費者を育成することにつながると考える。更に生徒が自分や家族の生活を振り返りながら自覚ある行動、そして環境に配慮した生活を営む能力、実践的な態度を養うことを目標にしている。

### (3) 生徒の実態

2年4組の生徒は明るく素直な生徒が多い。家庭科の授業は意欲的に取り組む生徒が多く、生活班を母体としたグループ活動においても協力しながら前向きに取り組もうとする。

本題材にかかわる調査結果などから、定期的にお小遣いをもらっている生徒は55%である。ほか45%の生徒は不定期ではあるが全体的に自由に使えるお金を持っている。そのお小遣いのつかい方は、「貯金してほしいものを買う。」「あまり使わないで余ることが多い。」など堅実な使い方をしている。しかし一方で少数ではあるが「すぐほしいものを買う。」などと回答している生徒もいる。また「どのようなものを買いますか?」という質問に対しては多くの生徒が「お菓子・飲み物」「本・マンガ」と答えている。

更に「今までの高額な買い物は?」は2,000円くらいのスポーツ用品からゲーム関係のもの40,000円～50,000円と幅広く、高額商品を購入している生徒もいる。

「一番ほしいものは?」についても質問項目に対しては回答が多種にわたっており、一つの学級においても商品の購入については価値観の多様性を実感している。

商品の選択・購入については多くの生徒が店舗販売を利用しているが学級の約半数は通信販売(カタログ・インターネット)を活用しており、購入金額も高価なものがあることもわかった。このような中学生の実態をふまえ、よりよい消費生活のあり方を実践的な活動を通して考えさせていきたい。

### (4) 指導にあたって

社会の変化に対応し、生徒の実態や家庭生活の状況をふまえながら、身近な事例をあげ、興味・関心を大事にしながら、自分や家族の生活の仕方、消費生活のあり方などを考えさせていきたい。また、意志決定能力を育むことの重要性を考え、授業の中で実践的な学習を通して意志決定の場を設定するなど指導過程の工夫を図りたい。特に「商品の選択・購入」にあたっては、本当に必要かどうかの判断や多くの情報の中から取捨選択し、よりよいものを選ぶ力を養いたいという考えのもと、班学習を取り入れ共同思考学習など工夫しながら相互に考えを深めるための手立てを考えた。本校の研究とも関わりのある「基礎基本の定着を図ること」「活用する」にかかわって実践的な学習活動を工夫し、生徒に働きかけていきたいと考えている。

### (5) 校内研究との関わり

技術・家庭科では、実践的、体験的な活動を通して習得した知識や技術を自分自身の生活に生かし、生活を工夫したり創造したりする力、実践しようとする態度を「活用」ととらえた。

「活用する力」を高めるためには、学習を通して活用することの価値意識を高めることが大切になると考える。そして生徒の「自分の生活をよりよいものにしようとする思いや願い」と「生活に関する知識・技術」の習得が相互に関わることによって更に「活用する力」を高めることになると考える。

そのための手立てとして学習過程においては学習意欲の5つの視点の中でも「興味関心が持てる」「目的意識がもてる」ということを大事に考えた。各題材の導入部あるいは一単位時間の導入段階において「おもしろそうだ、やってみたい」「なぜだろう?」という生徒の学習意欲を引き出す教材の提示の工夫や教師の働きかけを意図的に取り組むことによって学習に意欲的に取り組むことができるようになると思う。

また、課題解決の段階では「所属感・貢献感」を味わわせることができるように班でのグループ学習を取り入れながら、相互に課題解決に向かって思考を練り合いながらよりよい考えを出し合うような方法を取り入れ、それが学習意欲につながるものと考えている。

### 3 題材の目標

#### (1) 指導目標

- 販売方法の特徴や消費者の保護について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用方法について理解している。
- 自分の生活が環境に与える影響について考え、配慮した生活を工夫している。

#### (2) 題材の評価規準

〈 関心・意欲・態度 〉

- ・家庭生活と消費について、関心をもって学習活動に取り組み、消費生活をよりよくしようとしている。

〈生活を工夫し創造する能力〉

- ・家庭生活と消費について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。

〈生活の技能 〉

- ・生活に必要な商品（物資・サービス）の適切な選択、購入及び活用をすることができる。

〈知識・理解 〉

- ・家庭生活と消費に関する基礎的な知識を身につけている。

### 4 題材の指導計画と具体的評価規準（8時間）

時	学習内容	評 価 規 準			
		生活や技術への関心 ・意欲・態度	生活を工夫し創造する 能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
1	・生活に必要なものを理解しよう	・わたしたちの消費のしくみを理解、消費者としての態度を身につけようとしている。	・自分の消費生活を見直して消費者として工夫した行動をとろうとしている。		
2 (1 /2 本時)	・選ぶときの条件を考えてみよう	・情報を収集整理し、物資・サービスを適切に選択・購入・活用しようとする。		・身近な物資・サービスについて品質を見分ける力を身につけるとともに、機能・価格・アフターサービスなどのそれぞれに応じた視点で消費生活を見直すことができる。	・物資・サービスを適切に選択・購入・活用に関する基礎的な知識を身につけている。
1	・販売方法と支払い方法	・商品の販売方法や支払い方法に関心を持っている。			・契約の意味、販売方法と支払い方法の種類と特徴について基礎的な知識を身につけている
	・トラブルの解決	・中学生に関わりの深い販売方法に関心	・中学生にかかわりの深いトラブルを理		・中学生にかかわりの深いトラブルの解

1	を考えよう	を持って、トラブルのロールプレイングをしようとしている。	解し、解決方法や原因、予防策を考え、工夫している。		決方法や原因、予防策、クーリングオフの基礎的な知識を身に付けている。
1	・消費者を守るしくみを知ろう	・消費者保護法について消費者の基本的な権利や消費者基本法について関心を持っている。		・クーリングオフできる条件と方法を理解し、実践できる。	・消費者の基本的な権利と消費者基本法の趣旨を理解する。
1	・環境への影響を考えてみよう	・自分の消費行動と環境について関心を持っている。	・自分の消費行動と環境問題について気づき、環境を考えた生活ができる。		・自分の消費行動と環境問題の関係を説明することができる。
1	・暮らし方を考えよう	・環境に配慮した生活について関心をもって実践しようとしている。		・環境に配慮した商品の購入についていくつかの商品を比較検討できる。	・環境に配慮した購入方法について発表できる。

## 5 本時の指導

### (1) 本時の目標

- 商品についている表示やマークの情報を読み取ることができる。
- 商品を選択する時には表示が役に立つことを理解する。
- 様々な情報の中から自分の生活や嗜好に合った商品が選択できる。

### (2) 学習内容と具体的な判断基準・支援

学習内容	評価規準	具体の評価		規準の内容を実現していない生徒への対応・手立て
		十分満足すると判断する視点	おおむね満足すると判断する視点	
・表示をもとに商品の情報収集をする。	・商品の表示やマークから情報を読み取りまとめることができる	・商品の様々な表示やマークから必要な情報をまとめることができる。	・商品についている表示やマークの意味がわかる。	・商品の表示やマークについていることを机間指導を通して確認させる。
・商品の特徴を理解する。	・班での話し合いを通して商品の選択をするための条件にかかわる情報の取捨選択ができる。	・商品を選択する条件について積極的に意見を出したり、まとめたりすることができる。	・班員の意見を聞きながら、自分の意見を出すことができる。	・班員の意見を聞き取り、自分の考えをまとめることができるように働きかける。

(3) 本時の展開

	学習過程と5つの視点	学習内容及び学習活動	○具体の評価規準 *対応・手立て
導入 5分	1 題材の提示 【①興味・関心・意欲】	1 導入題材の提示 ・商品を表示し、たくさんある中からどれを買いたいのか考える。 ・商品を購入するときに実際どのようにして購入しているか自分たちの行動を想起させる。	* <b>商品の提示(全体)</b> * 商品表示などは重要な情報であることに気づかせたい。  * <b>学習シート</b>
	2 学習課題の提示 【②目的意識】	2 学習課題の確認 ・本時の課題を確認する	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           課題 <b>商品を選ぶときの条件を考えよう</b> </div>			
展開 40分	3 課題追求1	3 商品比較 ・数種類の商品を表示やマークをもとに比較していく。 ・多くの情報を整理しながら気づいたことを発表する。	○ 商品についている表示やマークから情報を読み取りまとめることができる。 * <b>商品(各班ごと)</b> * <b>学習シート</b> * <b>表示・マークなどの提示資料</b> * 読み取った情報の中から自分が優先させるものは何なのかを決定させる(意思決定の場合)なぜ順位に違いが出るのか個人の考えをまとめさせる。
	4 課題追求2 【③所属感・貢献感】	4 商品選択の条件を検討 ・商品の表示、マーク等の読み取りをもとに、自分たちのグループであればどの条件をもとに商品を選択するか話し合う。 ・話し合った視点をまとめ、発表する。	◎ <b>ランキング *ランキング用付箋(各班ごと)</b> 付箋を活用し、順位づけをする。実践的活動の場面としてダイヤモンドランキングの手法を用いて順位づけをグループで行う。 * <b>ホワイトボード</b> ○商品の条件を話し合い、情報の取舍選択をすることができる。 <u>【活用力】</u>
	5 課題解決	5 商品選択の検討 ・情報をもとに自分ほどの商品を選択するのか考える。	* 読み取った情報の中から自分が優先させるものは何なのかを決定させる(意思決定の場合)なぜ順位に違いが出るのか個人の考えをまとめさせる。 * 消費者としてだけでなく、販売者としての視点にも触れながら、商品を客観的にとらえさせる。 * 多くの情報の中から商品を選択すること、個人で意思決定し決めることを確認する。
終末 5分	6 学習のまとめ	6 商品購入のプロセス ・消費者の商品購入のプロセスを確認する。	* <b>紙板書</b> * <b>学習シート</b> 商品購入のプロセス(意思決定プロセス)をまとめ、食品以外の商品にも当てはまることにふれる。 <u>【一般化→活用の手立て】</u> 例 パソコン 衣類 靴など
	7 評価 【⑤進歩感・成就感】	7 自己評価 ・今日の学習の取り組みの評価を行う。	* <b>学習シート</b> 学習の振り返りを行い、生活に生かしていきたいことなども考えさせる。 <u>【活用力】</u>